

版画の魅力

本展では洋画家の須田国太郎 (1891-1961) が制作した希少な銅版画 7 点の初公開にともない、荻須高德 (1901-1986) や絹谷幸二 (1943-) など近現代日本の洋画家たちが手がけた版画を本画とあわせて紹介します。同じ画家による、油彩画や版画という異なる技法の表現を見くらべ、両者の違いや面白さを見つけながら、版画の魅力を探ります。

版画には銅版画、リトグラフ、シルクスクリーン、木版画とさまざまな種類の制作方法があります。木版画では代表格である浮世絵版画を紹介します。

それぞれの特徴を見くらべながら楽しく、お気に入りの一枚を探してみませんか。



左：歌川広重《名所江戸百景 廊中東雲》1857年 多色摺木版
右：歌川豊国（三代）《児雷也豪傑譚》江戸時代 多色摺木版



同時開催 須田国太郎の世界



日本近代絵画史に偉大な足跡を遺した、洋画家・須田国太郎 (1891-1961)。「東西の絵画の総合」という壮大なテーマを掲げ、さまざまな視点で制作に取り組みました。本展では、油彩画をはじめ、28 歳から4年間の遊学時にヨーロッパ各地を撮影した写真や、須田の愛用品、自ら絵付けをした陶器などを展示しています。

左：須田国太郎《絵付け花瓶「鶯」》

散策マップ



絹谷幸二《薔薇》1980年頃 アフレスコ



絹谷幸二《バラ》シルクスクリーン

ワークショップ ステンシルでトントン! Eco バッグ

ミカンや安芸灘大橋など下蒲刈特有のモチーフのほか、幾何学模様など、用意してあるステンシルシート（絵柄がくり抜かれたシート）から好きな絵柄を組み合わせて、バッグに耐水性絵の具でステンシルを行います。

【日 時】8月 9日（土）
10日（日）

各日 ①10時～11時
②11時～12時
③13時～14時
④14時～15時
⑤15時～16時

【お問い合わせ先】

✉ honjin@shimokamagari.jp
☎ 0823-70-8088

【定 員】①～⑤の各時間内 2 名程度
【参加費】300 円（別途入館料が必要）

【会 場】当館研修室

【参加方法】予約の方が優先ですが、空きががあれば、当日でもご参加いただけます。予約を希望される方は、参加者氏名、年齢、連絡先（メールアドレス、または昼間に連絡が取れる電話番号）、希望時間（①～⑤）をご明記の上、左記のお問い合わせ先にお申し込みください。

